

日本パーツセンターが紺綬褒章を受章

昨年度に企業版ふるさと納税の制度を活用し、1千万円のご寄附をいただいた株式会社日本パーツセンターに対して、公益のために私財を寄附した方に贈られる紺綬褒章が国から授与されました。8月26日、代表取締役の中田誠一郎さんが市役所を訪れ、井出市長から紺綬褒章に係る褒状の伝達を受けました。



「ふるさと歴史の広場」リニューアルイメージ



株式会社日本パーツセンター代表取締役 中田誠一郎さん(左)と井出市長

エコ活動で得たエコポイントを寄附

日本ガイシ株式会社石川工場およびNGKセラミックデバイス株式会社石川工場から、市の環境美化活動を目的に18万4000円のご寄附をいただきました。寄附金は従業員がエコな活動に取り組んだ際に付与されたポイントを金額に換算したものです。8月22日、関係者6名が市役所を訪れ、井出市長に活動内容を報告しました。



日本ガイシ株式会社、NGKセラミックデバイス株式会社の皆さんと井出市長

戦中戦後の父の姿 若者へのエールとして

8月22日、徳久医院(寺井町)を開業されている徳久芳樹さんから「わが青春譜東京帝大医学生時代の戦中戦後日記・抄」を、市内の小中学校・図書館に寄贈いただきました。芳樹さんの父橋次郎さんの空襲体験をはじめ戦局が悪化する中で医学に励む姿が綴られています。



時代の雰囲気や伝える資料としても貴重なものです

県内初 フロアステッカー作成

消防本部では住宅用火災警報器の設置や点検、交換を呼び掛けるため「フロアステッカー」を作成し、市内のスパーや病院などの床に貼り付けています。住宅用火災警報器は煙や熱を感じし、火災の発生を知らせてくれるもので、全ての住宅に設置が義務付けられています。



英語やイラストを併記し、多くの方に伝わるよう工夫しました

観戦者に市の魅力を発信

9月3日、西部緑地公園陸上競技場で、サッカーJ2リーグのツエーゲン金沢VS東京ヴェルディの試合が行われ、ツエーゲン金沢の勝利にスタジアムは大いに盛り上がりました。また会場では市内観光名所を紹介したPR動画の放映のほか、スタジアム前に市のブースを設け、多くの方に市の魅力を発信しました。



ブースでは「のみブランド」やJA根上の「ごはんば〜が」などを販売しました

大雨被害の復旧支援へ多数の寄附 集まる善意

8月4日の記録的大雨による被災地の復旧復興のため、たくさんの方々からご寄附をいただきました。井出市長は「多くの市民が応援しているという気持ちで被災者の後押しになる。一日も早い復旧復興につなげ、気持ちを前向きにしたい。大変ありがたい」



被災された方への支援策

とお礼を述べました。寄附金は被災者支援や復旧復興に活用する予定です。市では引き続き被災された方への支援に取り組みんでいます。各種手続きについては市ホームページをご覧ください。

泉台町



右から加藤綾子町長と青山信久幹事長

各世帯から拠出された災害見舞金および泉台ふるさと祭りで寄せられた募金のご寄附をいただきました

市美術作家協会



右から岸山大成理事長と佐藤剛志事務局長



第18回能美市美術作家協会展で、会員作家の作品を販売した売り上げの一部を寄附いただきました

一般財団法人 石川ライオンズ奉仕財団

加賀市、泉台町会、能美ロータリークラブ、能美市美術作家協会、輪島市、国際ソプロチミスト小松、一般財団法人石川ライオンズ奉仕財団、越前市、和気の池を守る会 ※敬称略

8月4日から31日まで受付分、寄附受付日順 皆さまのご厚志ありがとうございます

中学生が熱弁 加賀地区中学生意見発表大会

8月6日、根上総合文化会館で第41回加賀地区中学生意見発表大会が開催され、加賀地区の4市町から19名が出場しました。市内3中学校からは3名の生徒が参加し、自分の考えを堂々と発表しました。審査の結果、



重谷昂伯さん (根上中学校3年)

果、根上中学校3年の重谷昂伯さんが優秀賞となり、県大会へ出場しました。



酒野夢莉さん (寺井中学校3年)



長村怜香さん (辰口中学校3年)

いしかわ百万石文化祭2023に向けて 「GAP FREE パフォーマンス」の練習を開始

8月6日、「いしかわ百万石文化祭2023 能美市プレイベント」に向けて、国内外で活躍しているダンサー・振付家の宝来美希さんが講師を務める「GAP FREE」パフォーマンス

「S」に多くの市民が参加しました。手話ダンスなどを取り入れたもので、練習の成果は12月に開催する「みんなの街フェス in 能美」で披露されます。



年齢や性別、国籍、障がいの有無に関わらずGAP(=みぞ)がFREE(=ない)の状態にしていくための取り組みです